



# おはなし トレイン

## 1・2年生



### 『かなへび』

たけなか せん 石森 愛彦/え  
竹中 踐/ぶん  
ふくいんかんしよてん  
福音館書店

ちい 小さなちやいろの体からだにながいしっぽのかなへびは、名まえはへびでもとかげのなかまです。ひるまは虫むしをつかまえたり、ひなたぼっこをしたりしています。時にはカラスやネコなどにおそわれることもあります。そんな時ときかなへびはどうするのでしょうか。ひみつはしっぽにあります。くさむらなかの中で、たくましくい生活しているかなへびのようすが、とてもよくわかります。



## 3・4年生

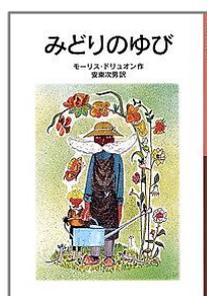


### 『あたまをつかった ちい 小さなおばあさん のんびりする』

ホープ・ニューウェル/作  
まつおか きょうこ やく 隆矢 なな/絵  
ふくいんかんしよてん  
福音館書店

どうぶつ 動物たちとくらすちい 小さなおばあさんは、どんどんあたまをつかいつづけたので、ひまな時間じかんができるようになりました。するとこんどは、のんびりするのためにどうしたらよいかと、いろいろかんが 考えはじめます。ちょっとこまったこともおこりますが、おばあさんはそのたびに、あたまをつかってかいけつします。楽しくくらすおばあさんの、ゆかいなお話しはなしが9つのついています。

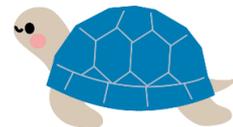
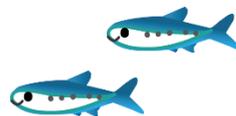
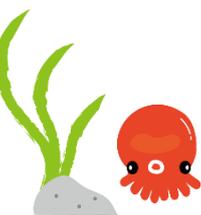
## 5・6年生



### 『みどりのゆび』

モーリス・ドリュオン/作  
あんどう つぐお やく 次男/訳  
いわなみしよてん  
岩波書店

チトはかねもちのいえ おとこ 子です。いきはじめたばかりのがっこう 学校になじめず、いえ にわし 家で庭師のおじさんと過ごすようになりました。おじさんからいろいろなことをまな 学んでいると、チトのまわりでいろいろなしよくぶつ 植物が育ち始めます。そして、ちちおや 父親のこうじょう 工場で兵器をつく 作っていると知ったチトは、せんそう 戦争をやめさせたいとかんが 考えました。不思議なチトのゆびと、しよくぶつ 植物が持つちから 力におどろ 驚かされます。



## 『ぺちゃんこスタンレー』

ジェフ・ブラウン/文  
トミー・ウンゲラー/絵  
さくま ゆみこ/訳  
あすなる書房

スタンレーは、けいじばんの下じきになり、からだがぺちゃんこになってしまいます。でも、ドアの下すきまをとったり、ゆうびんになって、とおくの友だちのいえにあそびにいたり、たのしいまいにちをすごしていました。人のやくにたつて、しんぶんにもりました。でも、だんだんぺちゃんこがいやになってしまいます。なにがあったのでしょうか。

## 『ジャイアント・ジャム・サンド』



ジョン・ヴァーノン・ロード/ぶん・え 安西 徹雄/やく アリス館

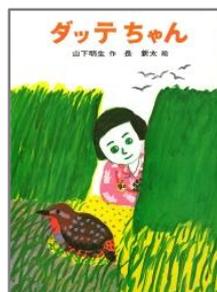
むしむしとあついなつの日、400まんびきのハチのたいぐんが村にやってきたので、さあたいへん！ こまった村の人たちは、ハチが大すきないちごジャムをぬった大きなサンドイッチで、わなを作ることにしました。でも、そんなに大きなジャムサンドって、いったいどうやって作るのでしょうか？ みんなのさくせんは、せいこうするのでしょうか？



## 『うりこひめとあまんじゃく』

ほりお せいし ぶん  
堀尾 青史/文  
あかば すえきち え  
赤羽 末吉/絵  
しゅっぱん  
BL 出版

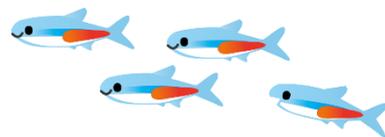
かわをながれてきたうりからうまれた「うりこひめ」。すくすくとそだち、うつくしくなったひめのところに、いたずらものの「あまんじゃく」がやってきます。「あまんじゃく」は「あまのじゃく」ともいい、なんでも人のはんたいをするいじわるのことなのだそうです。あまんじゃくは、ひめにどんないたずらをするのでしょうか。たのしくよめるむかしばなしです。



## 『ダッテちゃん』

やました はるお さく  
山下 明生/作  
ちよう しんた え  
長 新太/絵  
あかね書房

「だつて」がくぐせの、ダッテちゃんは、ママがつけたあだ名です。うみべのだんちにすんでいます。ダッテちゃんはじぶんの7さいのたんじょうびをまえに、きめたことがあります。それは「じぶんがうまれたとおなじ日のおなじときを見てみたい！」ということでした。ひとりではやおきをして、たんけんにてかけます。いったいどんなことがまちうけているのでしょうか。



## 『ほんとうの空色』

パラージュ/作  
とくなが やすもと やく  
徳永 康元/訳  
いわなみしよてん  
岩波書店

フェルコーは、絵の好きな少年です。母親のせんたくの仕事を手伝うために、学校の宿題や勉強をする時間がありません。ある日、クラスメートから借りた絵の具の、あい色をなくしてしまいます。困ったフェルコーの前にあい色に似た“ほんとうの空色”の絵の具について、教えてくれる人があらわれました。美しくふしぎな絵の具をめぐる、ハンガリーの物語です。



## 『ルソンバンの大奇術』

ぼたん やすよし ちよ  
牡丹 靖佳/著  
ふくいんかんしよてん  
福音館書店

ひよろりと背が高く枯れ木のような男、ルソンバンは、昔は誰にもまねできないすごいマジックができる劇場のスターでした。ところが、たった一度の失敗ですべてを失ってしまいます。しばらくたったある日、公園で男の子とのら犬に会った事をきっかけに、少しずつ自分のマジックへの自信を取り戻していきます。「それではごらんにいれよう、ルソンバンの大奇術」



## 『いたずらのすきなけんちくか』

あんどう ただお げんさく  
安藤 忠雄/原作  
はた こうしろう/絵  
しょうがくかん  
小学館

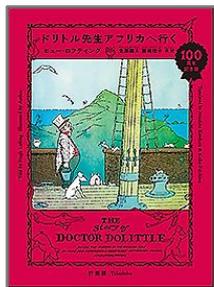
「ほんのもり」で探検していたりょうたとりさは、ふしぎなけんちくかに会いました。その人は、いたずらをしこんだたてものを、多くの人たちと力を合わせて、世界中につくったと言います。ピーナッツのからのようなたてもの、かさをさして歩く家。さあ、つぎつぎにあんないされるたてものに、どんないたずらがしこんであるのか、あなたもさがしてみませんか？



## 『お蚕さんから糸と綿と』

おおにし のぶお ちよ  
大西 暢夫/著  
アリス館

滋賀県内で有数の養蚕地だった村でも、今では「お蚕さん」を育てる家は軒だけになってしまいました。1cmにも満たない蚕に桑の葉を与え、見事な美しさの糸や真綿を作り上げるまでには、私たちの想像をこえる時間と手間がかかっていることでしょう。「お蚕さん」に感謝し、知恵や工夫をこらして続く昔ながらのものづくりは、本当にすばらしいものです。



せんせい  
『ドリトル先生  
い  
アフリカへ行く』

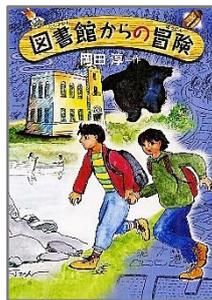
しゅうねん きねんばん  
100周年記念版

ヒュー・ロフティング/著

かねはら みずひと ふじしま けいこ きょうやく  
金原 瑞人, 藤嶋 桂子/共訳

たけしよぼう  
竹書房

どうぶつ ばなし  
動物と話ができるドリトル先生は、動物たち  
をおそろしいえきびょうからすくってほしいと、サル  
のチーチーに頼まれます。そこで、アヒルのダ  
ブダブ、犬のジップら仲間と共（とも）にアフリカに向  
けて出発（しゅっぱつ）します。世界中で愛（あい）されている「ド  
リトルせんせいシリーズ」出版（しゅっぱん）から100年（ねん）を記念  
して、新訳版（しんやくばん）が出版（しゅっぱん）されました。これまでに出版（しゅっぱん）さ  
れたシリーズも含（ふく）め、お気に入りの一冊（いっさつ）を見つ  
けてください。



としょかん ぼうけん  
『図書館からの冒険』

おかだ じゅん さく  
岡田 淳/作

かいせいしゃ  
偕成社

はいこう しょうがっこう としょかん しのびこんだ わたる ふ  
廃校の小学校の図書館に忍び込んだ渉は、不  
思議な場所（ばしょ）に足（あし）をふみ（ふ）いれました。そこは、つく  
り話（わら）だと思っていた、大（お）おじの敬（けい）二郎（じろう）さんが  
話（わら）してくれたお（お）こうの世界（せかい）でした。1枚（まい）の紙（かみ）の  
表（おもて）と裏（うら）に描（か）かれた絵（え）のような2つの世界（せかい）は、  
影（えい）響（きょう）をあたえあっていました。そしてお（お）こう  
の島（しま）では、大（お）きな自然（しぜん）災害（さいがい）が起（お）こっていたので  
す。こちらの世界（せかい）とお（お）こうの世界（せかい）の冒（ぼう）険（けん）が始（は）じ  
まります。



かあ  
『ぼくと母さんの  
キャラバン』

かしわば さちこ ちよ  
柏葉 幸子/著

いずみ まさし え  
泉 雅史/絵

こうだんしゃ  
講談社

かあさんがゆくえふめいになった夜、臆（おく）病（びょう）な少年（しょう）ト  
モのめ（ま）えに、かあさんを「ゆみえ殿（どの）」と呼（よ）ぶ巨  
大（だい）なねずみとクマが現（あら）われます。「ゆみえ殿（どの）が見  
つかるかもしれない」という言葉（ことば）にのせられた  
トモは、10頭（とう）ものラクダの群（む）れを引き連れて、  
異（い）世界（せかい）の大切（たいせつ）な荷物（にもつ）を目的（もく）地（ち）へ運（も）ぶため、自分（じぶん）  
の住（す）む住宅（じゅうたく）街（がい）や商店（しょうてん）街（がい）を歩（ある）きますが…。冒（ぼう）険（けん）  
とファンタジーの物語（ものがたり）です。



『シンデレラのねずみ』

さいとう ひろし さく  
斉藤 洋/作

もりいずみ たけひと え  
森泉 岳土/絵

かいせいしゃ  
偕成社

しょうがく ねんせい あん  
小学4年生の杏（あん）は、おばあちゃんからハムスタ  
ーをもらいました。それからというもの、ハム  
スターが回る滑（まわ）車（しゃ）を残（のこ）して姿（すがた）を消（け）したり、えん  
ぽうに住（す）んでいるおばあちゃんが、しらないはず  
の事（こと）を電話（でんわ）で話（わ）したりするのです。ハムスター  
はおばあちゃんのスパイ（スパイ）かもしれない…。図書  
館（かん）の児童（じどう）相（そう）談（だん）コーナ（こ）ーに勤（つと）めるわたしに語（か）た  
れる、5つの奇（き）妙（めう）なお話（わら）です。